⑩ 公開実用新案公報 (U)

昭58—144141

⑤Int. Cl.³F 16 H 1/40// B 60 K 17/16

識別記号

庁内整理番号 2125—3 J 7721—3 D 砂公開 昭和58年(1983)9月28日

審査請求 未請求

(全 3 頁)

⊗デフ・ケース一体型4ピニオン差動装置

②実 願 昭57-40903

②出 願 昭57(1982)3月23日

⑩考 案 者 舘野敏雄

岡崎市橋目町字中新切1番地三 菱自動車工業株式会社乗用車技 術センター内

砂実用新案登録請求の範囲

非分割型のデフ・ケースと、デフ・ケースに各 先端部を挿入状態で支持される支持構造の2ピニ オン用ピニオン・シャフトを有する差動装置にお いて、

上記2ピニオン用ピニオン・シャフトに代えて簡易型4ピニオン・シャフトを設け、該簡易型4ピニオン・シャフトは上記2ピニオン用ピニオン・シャフトをデフ・ケースに支持させたのと同様の支持構造を有する主ピニオン・シャフトに分割自在に直交して、組合わされた補助ピニオン・シャフトから成り、全体が十字形をしていると共に、上記補助ピニオン・シャフト両端部は該両端部に各々装着されるべきデフ・ピニオンの抜け止め手段が付加され、デフ・ケースに対しては簡易的な支持手段が施されているか又は非支持状態に設定されていること

①考案者平原一豊

岡崎市橋目町字中新切1番地三 菱自動車工業株式会社乗用車技 術センター内

①出 願 人 三菱自動車工業株式会社 東京都港区芝5丁目33番8号

砂復代理人 弁理士 樺山亨

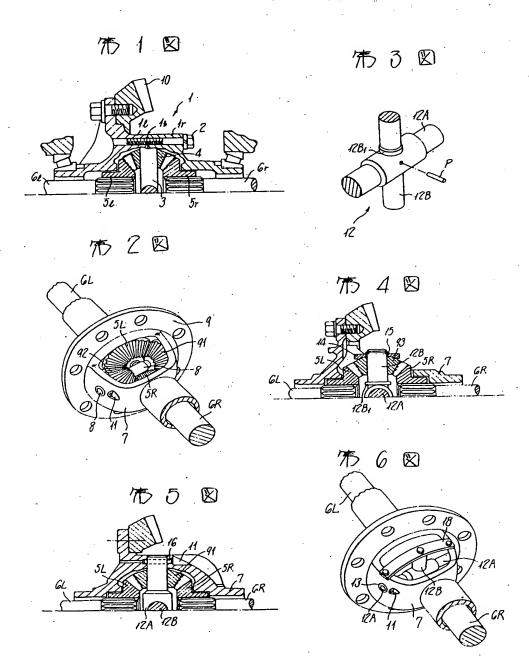
を特徴とするデフ・ケース一体型 4 ピニオン差動 装置。

図面の簡単な説明

第1図は従来技術としてのデフ・ケース分割型の差動装置の断面図、第2図は従来技術としての、一体型の2ピニオン・デフ・ケースを用いた差動装置の斜視図、第3図は本考案に係る簡易型ピニオン・シャフトの要部の斜視図、第4図は本考案に係る差動装置について主ビニオン・シャフトの軸方向よりみた断面図、第5図は本考案に係る差動装置について補助ピニオン・シャフトの軸方向よりみた断面図、第6図は本考案の変形実施例を説明した斜視図である。

7…デフ・ケース、12…簡易型ピニオン・シャフト、12A…主ピニオン・シャフト、12B …補助ピニオン・シャフト、14…ピニオン・シ ート、15…スナツブリング、18…架橋部材。

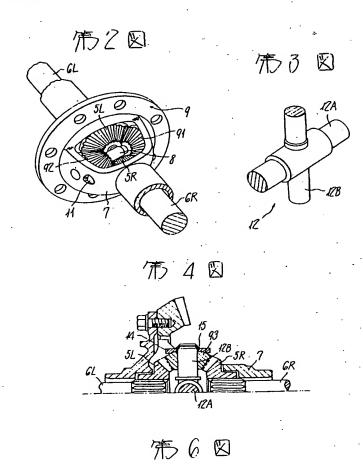
I TIIS PAUL BLANK (USPTO)

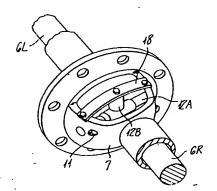


THIS PAGE BLANK (USPTO)

補正 昭57.11.5

図面を次のように補正する。





HIS PAGE BLANK (USPTO)